



菩提寺まちづくり協議会

# まち協だより 8号

平成22年6月25日

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-74-3471

発行責任者 事務局長 田畑 一佳

## 住民が主体の、個性ある地域に！！

三上新会長 挨拶

平成22年4月24日(土曜日)に菩提寺まちづくりセンターで開催されました菩提寺まちづくり協議会の、平成22年度通常総会にて、会長に選任されました近江台区の三上伸征と言います。この紙面をもって就任の挨拶とさせていただきます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



菩提寺まちづくり協議会が設立され、早3年目となりました。その間住民の皆様、協議会の役員の皆様、関係各位のご協力に改めて感謝申し上げます。菩提寺まちづくり協議会の設立当時は、運営委員21名の出席で手探りの状態から始めました。しかし、今では38名に増え6つの部会のもと、大変素晴らしい目標に向かって活動されており、その内容も充実してまいりました。



近年生活スタイルが変わりつつあり、住民の皆様の要望も多様になってまいりました。この様な時こそ連携協力し、要望に応えることが大切と思っております。又“自分たちの地域は自分たちでつくる”を目標に、住民の皆様が地域の良い点や問題点について共通認識を持ち、将来像を描き、住民が主体となって個性のある

地域に育てなければならないと思います。菩提寺まちづくり協議会も、皆様の要望に応じて行かなければならないと思います。幸い菩提寺地域におきましては、歴史豊かな史跡があり、また各区の自治会活動も活発で有能な人材に恵まれています。

今こそ力を合わせ、“安全で安心なまち”をモットーに、住民の皆様や関係各位と力を合わせ、活動して参りたいと思います。

どうか格別のご支援、ご協力をよろしくお願いいたしまして、就任の挨拶といたします。



## 暮らし支え合い委員会

委員長 保田 芳利

### 生きがい人材バンク作り に向けて

菩提寺学区・菩提寺北学区で生活して行くには、交通の利便性は最重点課題です。住民の高齢化が進むなかで、自家用車を手放せば生活が出来ないようでは、安心なまちとは言えません。そこで、昨年度はふれあいバスと滋賀バスについてのアンケートを自治会の皆様の協力を得て二回実施した結果、自家用車のある家庭ではバス利用がほとんどされていないことがわかりました。バスに乗らない

からダイヤが減り、益々不便で利用し難い環境になる悪循環になっています。暮らし支え合い委員会では、利用促進に向けて湖南市役所、滋賀バス、まちづくり協議会の三者で定期的に協議して、改善に向けた提案を行っています。



この中で、100円で乗車できるキャンペーン、バスの小型化、名称の統一等はすぐに実施される予定です。

これからの検討課題として、買物・病院バス、一日フリー券、高齢者の割引運賃制度、利用者の身近な場所への乗り入れ等を提案しています。

「こうすれば、もっとバスを利用する。」とのアイデアがありましたら、是非ご意見をお聞かせ下さい。

この他に、今年度は生きがい人材バンク作りの調査・研究を、湖南市役所と社会福祉協議会の協力を得て行い、来年度には高齢者や女性が地域へ一歩を踏み出せるキッカケづくりが出来るシステムを作りたいと考えます。

## 人づくり委員会

委員長 廣瀬 保



### 学校に 秘密基地 が！

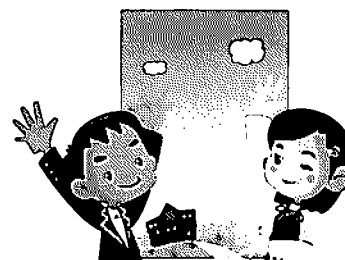
人作り委員会の本年度活動計画は、過去2年間行ってきた活動の基盤が出来てきたので、更なる展開を行う年でもあります。

#### 1、菩提寺、菩提寺北小学校の環境整備

本年度も花壇作り、ベンチの整備等を行っています。

最近学校に秘密基地のような「小さな空間」を作る取り組みが進んでいます。狭いスペースが、自分たちの「居場所」が出来た感じがして気分が安らぎ、子どもたちに良い効果をもたらすそうです。

荒れた学校では廊下にソファを置いて生徒たちが落ち着きを取り戻した例があることから、我々が行ってきた環境整備に間違いがなかったことに安心しております。



#### 2、あすなる応援団活動の支援

昨年10月には菩提寺北小学校に“あすなる応援団活動”(学校支援地域本部事業)が立ち上がり、本年度から本格的な活動がはじまります。まち協として大いなる支援を行っています。

#### 3、菩提寺歴史資料室(菩提寺小学校)の設置



子どもたちに郷土をより深く理解して、歴史を学ぶ材料が提供できればと思い、8月末完成予定で準備を進めています(写真)。

#### 4、菩提寺学区親善ソフトボール大会

スポーツを通じて地域住民の交流の場として

11月7日(日) に実施

雨天の場合：11月21日(日)

今年も豚汁の炊き出しを行い、大いに盛り上げていきます。



## 地域活性化委員会

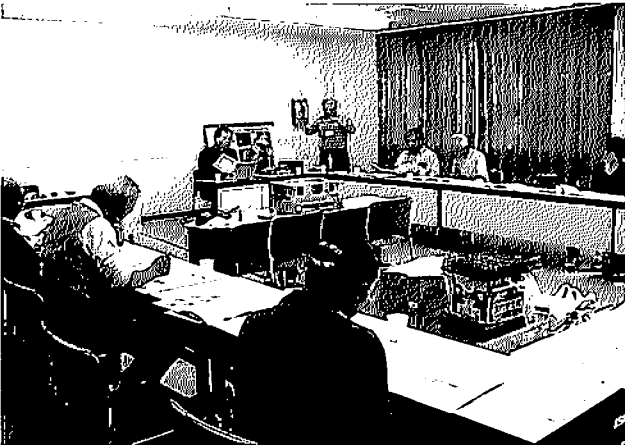
委員長 浅井 基義

### まち協が フリーマーケット 開催 !!

#### 『フリーマーケット開催』のご案内

7月25日(日) 13時~16時に、関西アーバン銀行横(フレンド마트前)空き地において、第1回菩提寺まち協フリーマーケットを開催いたします。当日は菩提寺商店会さんの抽選会日になっており、商店会さんとまち協の協同で開催することとなりました。皆様の参加をお願いいたします。詳しくは全戸配布の「第1回菩提寺まち協フリーマーケット開催の案内」をお読みください。

当日は、生ごみリサイクルの実演も行ってまいりますので、皆様の参加をお願いいたします



#### 『生ごみリサイクル情報交換会』

5月15日に、第4回目の生ごみリサイクル情報交換会を、近江八幡の吉田さん(近江八幡 市民生ごみリサイクルプロジェクト代表)を講師に招き実施しました。当日は、17名のモニターに参加頂き、燃えるごみが半減したとの報告もあり、今後も参加募集を行っていきます。

吉田さんには、色々な質問へのアドバイスと地球温暖化問題についてのお話をいただきました。



## 文化芸術委員会

委員長 高井 義三



### 小学生も製作「散策ガイド」

昨年と一昨年の事業で「龍王山の多宝塔」周辺の整備が、県の里山リニューアル事業の進捗もあり見違えるように綺麗になっています。歴史の小径の看板や懸樋・旧墓地への階段や石仏の整理、シャクナゲ・平戸ツツジの植え込み等、熱心に作業を進めてきました。これから四季折々に楽しめる散策路づくりを考えており、住民の皆さん、是非一度足を運んでください。きっと驚いて貰えることと思います。

また昨年、菩提寺小学校と菩提寺北小学校の生徒さんの協力により、『菩提寺史跡散策ガイド』の冊子と『マップ』の看板を製作して頂きましたが、本年も引き続き、両小学校の協力を頂き、子ども達が故郷の歴史や自然に親しんで、豊かな感情を養って頂けるよう継続して実施したいと考えています。

その他、この菩提寺地域には様々な才能を持った人達がお住まいです。私たちが住むこの地域を「本当に、菩提寺に住んで良かった。」と思えるところにするために、是非あなたの力をお貸しください。ご連絡をお待ちしています。



## 安全環境委員会

委員長 藤原 光司



次号に掲載します。

## 治山、砂防の菩提寺

菩提禅寺 住職 安部正毅師

菩提寺霊園墓地すぐ右側に、「右 はちまん 左 さくら」と書かれた道しるべがある。その後ろに高さ3m65cmもある立派な立石(石碑)が建っていて、県道を行き交う人の目を惹くものである。

碑文の345文字の漢文は難解であり「砂防竣工記念碑、滋賀県知事 従四位勲三等堀田義次郎篆額 大正12年10月」だけが辛うじて読める。巨額を投じて砂防を行った旨が、雰囲気を感じられる。

北側山地は「八重谷」の名前が残っているほど小さな谷が南北に走っていた。菩提寺北小学校もその谷の一つであったと思われる。しかも花崗岩地帯で雨が降るたびに山砂が流れて、水害や田畑の利水にも悪い影響を与えていた。

竜王町との境の峠を「八重谷越え」といい、永源寺・太郎坊宮参詣や善光寺参りに行き交う要所であった。ここにはしだれ桜があり、茶屋もあって、焼きもち、甘酒等が売られていた。



岩谷化学工業前の谷を登ると、希望ヶ丘公園の元 青年の城と運動公園とをつなぐ「希望の橋」にたどり着く。ここは3本の谷川が合流する所で、大山川の上流である。

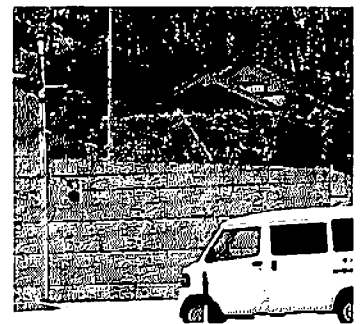
川の名前は「荒川」といい、名前の通り、暴れ川だったのだろう。増水すると、下流は忽ち一面水浸しとなったようである。今の大山川はその山麓を東西に流れ、砂を運び、広野にある田畑や南桜方面の田畑の利水に影響をもたらしていた。

そのため堰を造り、沈砂池あるいは灌漑用水として機能を果たした。当時の池は、いまよりもっと大きく広いものであったらと思う。

## 八王子神社の宿命 ?

広報委員 聞き書き

昨年、菩提寺新町を抜けるバイパスが開通し、その際、北山台や旧道との交差点建設に伴い、八王子神社は少しばかりではあるが、南側に移動をせざるを得なくなった。



その昔、同神社はサイドタウン区内にある、ひかり幼稚園付近に在ったらしい。それが土砂災害で埋まってしまい、現在の地に引っ越したとか。通常、お寺やお宮さんの引っ越しはあまり聞いたことがない。それが一度ならず二度までもとは、何か因縁めいたものを感じてしまう。

## あとがき

広報は、新委員の加入により前年度と同じく4人体制スタートです。ただし、だよりの編集に関しては未経験の者ばかり、必死になって先輩の真似をしています。ご覧の通り何となくインパクトに欠けますが、読みやすくなるまで、しばらくご辛抱の程をお願いします。

広報委員会